

### 学校紹介 新聞

# 茨城県立 筑波高等学校



- ◆校長 石塚 照美
- ◆生徒数 212人
- ◆創立 1950年
- ◆住所 つくば市北条4387

## 地域との交流

ガマの油売り口上を披露する生徒たち



## ガマの油売り口上学ぶ



「さあさあお立ち会い、ご用とお急ぎのない方は…」。  
ガマの油売り口上です。筑波高校では、学校地域連携の探究学習「つくばね学」を実施して8年目になります。伝統芸能「ガマの油売り口上」の学習が、つくばね学の目玉です。

「ガマの油売り口上」は、江戸時代に初代永井兵助が居谷を見せながらガマの油を売り始めたことがきっかけだとされています。筑波高校では、ガマ口上保存会の方を講師としてお招きし、毎週金曜日の5・6限目に袴の着付け、居谷の扱や作法、口上について1年半かけて学びます。そして、地域のイベントで披露し、広げる活動をしています。

つくばね学を通して、まだまだ知られていない地域の魅力や課題解決を考え、地域の魅力アップにつながる発見や解決策を得たいと学び続けています。(3年 島津雪映)



## こんな学校です!



青空の下でジャンプする筑波高校の生徒たち

# 進学と地域 2コース制へ

2024年度、筑波高校は変わります。「進学アドバンスコース」(以下、進学コース)と「地域キャリアビジネスコース」(以下、地域コース)の完全2コース制になります。

進学コース(40名募集)は、4年制大学進学を目指すし、地域コース(80名募集)は、就職・専門学校進学を目指すコースです。コースごとに、特色あるカリキュラムを設定し、総合的な探究の時間「つくばね学」を最大限に生かすことで進路実現を図ります。

つくば市、特に筑波高校が位置する北条地域は、非常に恵まれた地です。筑波山麓の地形、自然、歴史、文化、食、伝統と数え上げたらきりが無いほどの宝があります。

中でも人の温かさは、どこよりも素晴らしいものがあります。筑波高校は、この恵まれた土地で、応援して下さる地域の人々に支えられている学校です。地域の豊かな財産と人々の温かさは、筑波高校の探究活動「つくばね学」につながっています。

歩く会に参加する生徒たち



## わくわく学校行事

## 3年ぶり、伝統の歩く会



9月22日に筑波高校の伝統行事の一つである歩く会が行われました。新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの開催です。

天候悪化を考え、本来は筑波山頂上を目指す予定を変更し、つつじヶ丘駐車場から迎場コースの霧が立ちこめる探索路を歩きました。彼岸花やキノコを見つけ、秋の自然が感じられました。筑波山神社でつかの間の休息を取った後、再びつつじヶ丘に向かいます。

帰路は上りで、勾配がきつい場所もありました。友達の励ましを受けたり、音楽を聴いたりしながら、各自がモチベーションを保つ工夫をして、無事につつじヶ丘に到着することができました。

歩き切った後、みんなの達成感に満ちた顔が印象に残りました。伝統行事を守るために努力したいと思います。(生徒会長、3年 清水桃花)

## SDGs 実現へ



植物採集(さいしゅう)をする生徒たち

## ビオトープで自然復元



近年、つくば市では人口増加が進み、在来生物の生息場所が減少しています。そこで普通科アカデミックコースでは、失われつつあるつくば市の自然を復元したいと考え、筑波大学アクアリウム・テラリウムサークル「つくりウム」と共同でビオトープを造りました。

その過程で学んだことがあります。それは、地域の生物の生態や特徴を知ることが、その生物を守る手立てを考えることにつながるということです。ビオトープ造りを通して、生物の名前や生態を知ることができました。環境の変化に弱い植物や、外来生物に命を奪われてしまう魚などがいることを知り、その生物たちを守る方法について考えることができました。現在も新たな動植物が私たちのビオトープに入ってきています。今後も観察を続けていくことが楽しみです。(3年 田山響希)

次回は11月22日 県立I未来高等学校です

**水銀リサイクルの旅**  
蛍光灯 100%リサイクル  
〜ひたちなか市から北海道へ〜

当社中間処理施設で破砕処理をおこなった蛍光灯・水銀灯は、陸送・鉄道輸送を経由して最終的に北海道のリサイクル施設「野村興産株式会社イトムカ鉱業所」で100%リサイクルしています!

リサイクル処理可能なもの  
コンパクト型 電球型 環状型 直管型 水銀灯

勝田環境グループはリサイクルを通して持続可能な循環型社会に貢献しています。

KATSUTA KANKYO Katsuta Bio Power カツタ環境 カツタ環境

店舗営業に 茨城県で千客万来の体験を

折込チラシは40代以上の方々に愛される、消費行動に直結した販促ツール

40代以上 高い到達率 67%

茨城県の40代以上の個人への到達率

迅速・簡単 リーズナブル

申し込み締め切りは配布指定日の3日前、弊社へのチラシ搬入は2日前。  
※印刷済みのチラシをお持ち込みの場合

1000世帯あたり3,740円で宣伝できます。  
※折込料、物流管理費、消費税込  
※印刷費、弊社への配達費が別途かかります

お問い合わせは  
ASAHI ORIKOMI EBARAKI CO. LTD. 水戸 029-297-3004 土浦 029-824-4468